

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年11月18日掲載

3年2組 富永 颯真

「給食の磁器食器 絵付け体験」

苓北町では、給食にプラスチックの器ではなく、磁器の器を使用しています。そのような器に愛着を持ち、割れないよう大事に扱う気持ちを育む目的で、先日「絵付け体験」が行われました。普段使っている給食の食器には、様々なデザインのものがあり、それを毎回楽しみにしている人もいます。今回の絵付け体験では、そのように少しでも喜んでもらえるようにと工夫して描きました。

僕は、この絵付け体験を通して、これまで以上に、食器への愛着を持つようになりました。自分で考えたデザインを食器に描くのは難しかったですが、とても楽しく描くことができ、できあがったら大切に扱おうと思います。また、磁気で作られた食器を給食で使用することは珍しく、自慢できることだと思います。今後苓北町を出たときに、「苓北町ってどんなところ？」と聞かれたら、自信と誇りを持ち、磁気の食器をはじめ、多くのことを紹介し、伝えていきたいです。